

● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	中国国内技術移転のための大連人材育成
3. 事業の背景と必要性	<p>大連市は、遼寧省の南部に位置する地級市（地区クラスの市）であり、経済的重要性から省クラスの自主権をもつ副省級市にも指定されている。同市は、国家科学技術部から都市水環境質量改善技術の総合モデル都市として認められ、遼寧省都市環境総合整備の審査では12年連続して、トップを保っている。また、水道供給事業においても、遼寧省ではトップクラスの施設規模、財政力及び技術力を有している。</p> <p>大連市自來水集団有限公司（以下「大連市自來水」という。）は北九州市水道局と協力して、平成13年度からJICA章の根技術協力事業（地域提案型）及び（財）自治体国際化協会（CLAIR）の研修員受入事業を継続的に実施し、平成19年度をもって計画していた技術移転（漏水対策・浄水施設の運転維持管理・水質管理及び自動制御システム等）が完了した。</p> <p>一方、大連市周辺都市では、いまだに水道普及率の低迷や漏水の問題など課題を多く抱えその運営に苦慮しており、北九州市の大連市自來水への技術協力についての関心が高く、特に漏水対策技術や浄水処理技術についての協力を求めている状況である。</p> <p>これまでの技術協力の成果を中国国内でより一層発展させるために、今後は大連市自來水が主体となり、大連市周辺都市に対し技術協力を実施する体制を確立することが望まれる。しかしながら、大連市自來水の現状では、周辺都市に対し技術協力を単独で実施する人材と経験が不足している。また、行政機構上においても都市間で技術協力を実施する体制にない。</p> <p>そこで、大連市自來水による周辺都市への技術移転が可能となるよう、支援協力をを行うこととした。</p>
4. 事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 都市間の技術協力求められる総合的な技術力を有する人材を育成する。 大連周辺都市が抱える技術的課題を調査し報告書にまとめる。 大連周辺都市が参加する技術セミナーを開催し、今後の発展の起爆剤とする。
5. 対象地域	中華人民共和国大連市および周辺都市
6. 受益者層	<ol style="list-style-type: none"> 大連市自來水集団有限公司 大連市および周辺都市地域住民
7. 活動及び期待される成果	<p>(1) 成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 都市間の総合的な技術協力をを行うことのできるリーダー的人材が2名、水質試験に係る協力をを行うことのできる人材が1名育成される。 大連周辺都市が抱える技術的課題が調査され、報告書として整理される。 大連周辺都市の参加する技術セミナーが開催され、技術的課題の解決に向けた論議がなされる。（今後の周辺都市への技術協力を実施する上での布石となる。） <p>(2) 活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 研修員受入 <ul style="list-style-type: none"> 都市間の技術協力求められる技術的な総合力を習得させる。 日本の都市間技術協力について理解させる。 専門家派遣 <ul style="list-style-type: none"> 周辺都市が抱える技術的課題の調査において、カウンターパートを技術的に補佐する。 大連周辺都市が参加する技術セミナーにおいて、技術的観点に基づき、今後の都市間技術協力の方向性について提言を行う。
8. 実施期間	<ol style="list-style-type: none"> 専門家派遣 平成20年8月24日～平成20年9月16日 研修員受入 平成20年10月8日～平成20年11月8日
9. 事業の実施体制	（財）北九州上下水道協会が研修および専門家派遣実施機関となり、本事業全般について対応する。提案自治体である北九州市水道局は、人材や機材の提供等を通して適宜事業支援を行う。また、大連市自來水集団有限公司が研修員選考や専門家派遣の際の現地での対応を含む事業全般に関わり現地側協力機関となる。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	財団法人 北九州上下水道協会（福岡県北九州市）
2. 対象国との関係、協力実績	北九州市水道局が実施してきた複数の大連市自來水集団有限公司支援事業において、適宜協力してきた実績がある。